

ステークホルダーの皆様へ

TOP MESSAGE

株主の皆様におかれましては、日頃より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

2019年末より続いております新型コロナウイルス感染症の影響は今なお継続しており、7月には新規陽性者数の急激な増加も見られました。しかしながら、本年3月にまん延防止等重点措置が解除されて以降、当社グループ店舗や当社のお客様の店舗に対し、行政からの営業制限は行われず、当第2四半期におきましては中核事業である業務用カラオケ事業及びカラオケ・飲食店舗事業ともに回復傾向で推移いたしました。

このような中、当社グループにおきましては、コロナ禍により減少した通信カラオケDAMの稼働台数回復と、カラオケ・飲食店舗事業の黒字化という2点を今期の重要課題として様々な施策に取り組んでまいりましたが、当第2四半期までの実績も踏まえ、大きな手応えを感じております。

業務用カラオケ事業においては当社の強みである対面営業に加え、ウェブも活用した営業体制構築に努めるほか、新コンテンツ「ライブユー！」をはじめ、ライブやアニメも含む映像コンテンツをさらに充実させることにより、DAMの商品力強化を図りました。

カラオケ・飲食店舗事業においては、最上位機種「LIVE DAM Ai(ライブダムアイ)」導入による設備面の強化や、SNSも活用して学生を含む幅広いお客様に対し訴求を行うことにより集客を図ったほか、飲食店舗の新業態開発にも注力しております。

また、当社事業の第三の柱とするべく注力しておりますパーキング事業につきましても、堅調に規模を拡大しております。

コロナ禍の完全な終息にはまだ時間がかかることが予想されますが、前期までと比べ、事業環境は確実に回復に向かっております。今こそ当社の使命として、「歌って楽しい」ということに加えて「皆様の心と身体の健康に寄与する、社会に無くてはならないサービス」としてのカラオケの価値を広める活動を推進してまいります。10月にはこの思いを新たなグループ企業メッセージ「Singing 歌いながらいこう」に込め、当社ホームページ等で発表いたしました。

当社は、これからもカラオケのリーディングカンパニーとして、“もっと音楽を世に もっとサービスを世に”の社是のもと、より一層カラオケの魅力を高めることによりカラオケ産業全体の発展や社会課題の解決に寄与し、当社グループとしても成長を続けてまいります。

株主の皆様には、引き続きご支援を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

代表取締役社長 保志 忠郊

第一興商グループの新企業メッセージ

「Singing 歌いながらいこう」

～この毎日を歌いながらいこう。歌えば、明日はもっといい日になる。～

当社グループは、“心と身体を元気にするカラオケをもっと楽しんでいただきたい”という思いのもと、新しいグループ企業メッセージを策定しました。

今後はこのメッセージを中心に、様々なアクションをとおして歌うことの素敵なチカラを社会全体に広げ、皆様の日常が豊かになるお手伝いをしてまいります。

特設サイト公開中 <https://www.clubdam.com/singing/>

取締役兼上席執行役員 営業統括本部長

大塚 賢治に聞く

コロナ影響下での営業体制について

新型コロナウイルス感染拡大から約3年が経ちました。この間、緊急事態宣言の発令などもあり、カラオケ業界は大きな影響を受けてきました。

一方、様々な生活が制限される中でも、宣言等の解除が行われる度にお客様はカラオケに確実に戻ってきています。うたは生活から切り離せないものであり、カラオケは、誰もが楽しめる身近な文化として確実に根付いているということ、このコロナ禍を通して改めて実感しています。

そうした中であって、私たち営業部門としては、感染予防商材の提供等を通じて地域密着の対面営業を継続しながら、お客様と一緒にこの危機を乗り越えてきました。また、「カラオケの窓口」や「よるみせナビ」を開設し、ウェブを活用した営業体制を構築するなど、コロナ禍によって市場が一時的に縮小する中で、できる準備を行ってきました。6年ほど前から全国的に推進を開始したパーキング事業も、長年にわたり地域に密着した営業活動を続けてきたことを背景として着実に拡大しております。

社会全体に歌うことの素敵なチカラを発信する

新型コロナウイルス感染症は、経済への影響ということで見ると徐々に縮小してきております。

そのような中で当社はこの度、新しいグループ企業メッセージ「Singing 歌いながらいこう」を策定しました。これは「心と身体を元気にするカラオケをもっと楽しんでいただきたい」という思いを込めています。

この思いを実現するための取り組みの一つが、マイクの色をピンクとホワイトに一新した「ハーモニーマイク」の提供です。これまでマイクは黒というイメージが一般的でしたが、明るく、きれいで華やかなマイクでカラオケの価値をアピールする狙いがあります。これまで以上に幅広い層にカラオケを身近に感じてもらうことで業界の発展にも貢献したいと考えており、既に当社のビッグエコーでは全店全室のマイクを入れ替えたほか、カラオケボックスだけでなくスナック・バーなど、お客様の店舗へも導入を進めています。



また、当社グループは、サステナビリティ基本方針に基づき、「健康寿命の延伸」と「QOL向上」を重要課題として掲げており、エルダー市場へのカラオケの普及もその一貫です。具体的には、公民館やデイサービス施設、高齢者介護施設へのカラオケ機器の導入を進めており、こうした施設でのカラオケのニーズは高いと考えています。DKエルダーシステムは、通常のカラオケとしても使用できることに加え、大学等との共同研究によるエビデンスに基づいて作られた多くのコンテンツを搭載していますので、利用者に向けたレクリエーションに悩まれている施設の職員様には、たいへん喜ばれています。今年10月に発売した最新機種「FREE DAM LIFE」には、運動機能などに合わせて進行プログラムを再生する「おまかせレク」機能や、遠隔でもオンラインセッションのできる機能などを搭載しており、介護現場の環境改善にも繋がることを期待しています。

私たちは今期の重要課題として、コロナ禍により減少したDAM稼働台数の回復に努めています。スナック・バーやカラオケボックスといった既存の市場の回復を後押ししながら、エルダーなどの成長市場の開拓にも取り組んでいるほか、新たな歌う場所の創出にも取り組んでいます。また、全国に展開する営業網を活用したパーキング事業を第三の柱として強化していくことにより、安定的な事業基盤を拡大していくことが当社の発展に繋がると考えています。

今後もカラオケや歌うことの価値を広げていき、カラオケ業界を盛り上げることで社会課題の解決にも寄与していく施策を実施していきますのでご期待ください。

カラオケの窓口

店舗や施設へのカラオケ機器導入を
支援する相談窓口

よるみせナビ
YORUMISENAVI

スナック・バー・クラブ店舗用賃貸物件
を収集した物件情報サイト



LIVE DAM Ai

DAMがアニメ・声優コンテンツを 全力応援！

当社は、カラオケの楽しさを追求し、ライブ映像やミュージック映像などの映像コンテンツ充実に向けてきました。その取り組みの一環として、カラオケでこれまで以上にアニソンや声優コンテンツを楽しんでいただけるように4月にDAMアニメ部を発足しました。

DAMアニメ部公式Twitterアカウントでは、アニメや声優に関する情報を発信し、皆様が歌いたいカラオケを一緒に作っていきます。

また、人気声優が、自身で選曲したアニメソングを歌ってくれるDAM独自のコンテンツ「あにそんボーカル」にはこれまで総勢200名を超える声優にご参加いただき、楽曲数は300曲以上となっています。

DAMはこれからもアニメ・声優コンテンツの強化をはじめ、カラオケの楽しさを最大限に高めるコンテンツの充実に努めていきます。



©藤本タツキ/集英社・MAPPA

DKエルダーシステム

最新機種「FREE DAM LIFE」登場

当社は、現在、約25,500カ所以上の高齢者向け施設で利用されている生活総合機能改善機器「DKエルダーシステム」専用機の最新機種「FREE DAM LIFE」を2022年10月4日に発売しました。美しい映像とクリアなサウンドに加え、軽量かつユーザビリティに優れたFREE DAMの進化形として多彩なコンテンツを搭載し、進行プログラム数を大幅に増やしました。

楽曲、映像コンテンツの強化

130,000曲を超える楽曲数はもちろん、映像コンテンツは1,450以上搭載。機能訓練・介護予防をサポートするエルダーコンテンツは1,200以上ご用意しました。

楽曲数 130,000 曲以上	ガイドボーカル 約 10,000 曲以上	映像コンテンツ 1,450 以上	エルダーコンテンツ 1,200 以上
---------------------------	--------------------------------	----------------------------	------------------------------

※2022年10月現在



FREE DAM LIFE

また、「FREE DAM LIFE」専用アプリ「FREE DAMアプリ」が新たに登場。DAM本体を操作せずに、お手持ちのスマートフォンなどから、楽曲検索及び進行プログラムの作成、登録、予約などが可能となりました。

FREE DAMアプリトップ画面▶



生活総合機能改善機器

DK ELDER SYSTEM

DKエルダーシステム公式サイト

<https://dk-eldersystem.com/>



■ ビッグエコー最新の取り組み

SNSの活用や「最強学割」の打ち出し

ビッグエコーでは、9月にカラオケボックス運営会社初となる公式TikTokアカウントを開設し、twitterなどと併せてSNSを活用することにより「カラオケの楽しさ」の訴求に努めています。

また、全店で実施している「最強学割」をはじめ、これからも歌う楽しさや喜びに触れる機会を提供する施策を実施していきます。



● TikTok



● twitter

■ 飲食店舗事業において新業態が登場

揚げたて天ぷらと蛇口をひねると出てくる“焼酎”の新業態 「大衆蛇口酒場 ぎん天」9月16日にオープン

ヘルシーな天ぷらと豊富なあてまきを楽しめる「大衆蛇口酒場 ぎん天」を、2022年9月16日に銀座コリドー街にオープン。60分無料で楽しめる卓上設置の蛇口からは、好きなタイミングで好きな量の焼酎を注ぐことができるので、待ち時間なく飲み放題をお楽しみいただけます。店内は清潔感のある白木のカウンター席やテーブル席を配置し、青いモザイクタイルをポイント使うことでスタイリッシュながらも、どこか懐かしさを感じさせる居心地の良い空間です。当社は、今後も顧客ニーズや立地特性に応じた魅力ある店舗づくりやサービスを展開し、顧客満足度を追求することで集客向上を目指します。



■ パーキング事業「ザ・パーク」

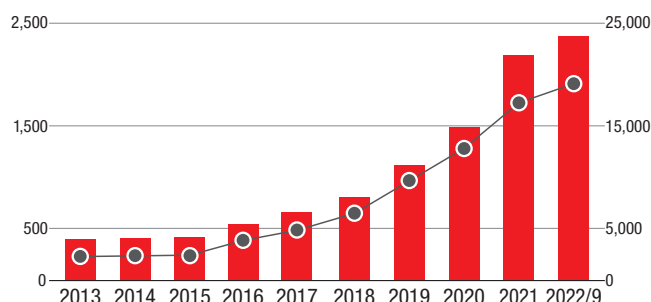
地域に密着したカラオケの営業網を活用し「ザ・パーク」の名称でコインパーキング事業を推進しています。新規出店が好調に進展し、2022年9月末時点では、1,900施設、23,000車室を超える規模に拡大しました。今後も当社グループの新たな柱の一つとして成長を続けていきます。



ザ・パーク

施設数・車室数の推移

■ 車室数(右軸) ● 施設数(左軸)



第一興商のサステナビリティ

TCFD提言に基づく情報開示

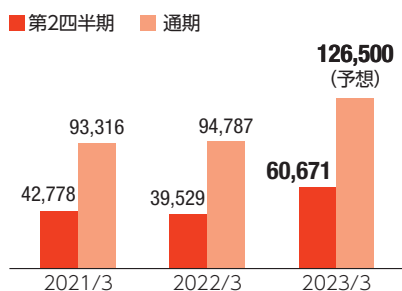
気候変動が当社に与えるリスク・機会を分析し、経営戦略・リスクマネジメントに反映するとともに、その進捗を開示し、社会全体の脱炭素化に貢献しながら、更なる成長を目指してまいります。

詳細はホームページをご覧ください。
<https://www.dkkaraoke.co.jp/csr/environment/>

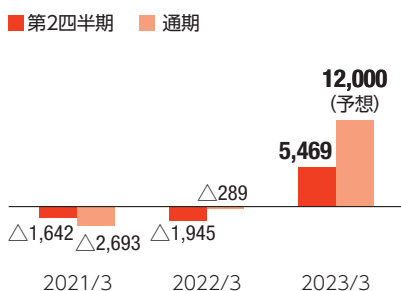


科目	2021/3		2022/3		2023/3	
	第2四半期	通期	第2四半期	通期	第2四半期	通期(予想)
経営成績(百万円)						
売上高	42,778	93,316	39,529	94,787	60,671	126,500
営業利益	△1,642	△2,693	△1,945	△289	5,469	12,000
営業利益率(%)	△3.8	△2.9	△4.9	△0.3	9.0	9.5
経常利益	△746	△1,194	△1,176	888	5,773	12,800
親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益	△3,881	△18,782	△1,429	5,196	5,990	10,000
財務状況(百万円)						
総資産	207,328	186,795	176,804	180,389	184,480	—
純資産	127,384	106,030	101,733	105,160	108,286	—
キャッシュ・フロー(百万円)						
営業活動によるキャッシュ・フロー	△1,595	7,755	△1,606	18,165	11,367	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△5,555	△9,539	△5,049	△9,297	△ 5,901	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	31,511	22,174	△3,314	△4,487	△ 3,500	—
現金及び現金同等物の四半期末(期末)残高	71,593	67,680	57,715	68,125	70,124	—
1株当たりデータ(円)						
1株当たり四半期(当期)純利益	△69.38	△338.54	△26.20	95.21	109.73	183.17
1株当たり純資産	2,259.18	1,912.19	1,834.75	1,896.65	1,953.02	—
1株当たり配当金(中間/期末)	56.00	57.00	56.00	57.00	56.00	57.00
主要経営指標(%)						
総資産経常利益率(ROA)	—	△0.6	—	0.5	—	—
自己資本当期純利益率(ROE)	—	△15.7	—	5.0	—	—
自己資本比率	60.6	55.8	56.7	57.4	57.8	—
配当性向	—	—	—	118.7	—	61.7

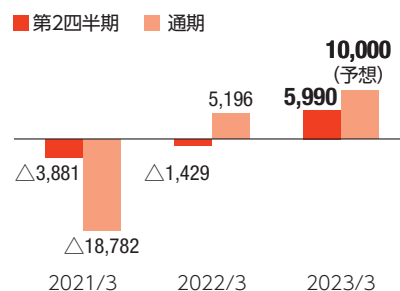
売上高(単位:百万円)



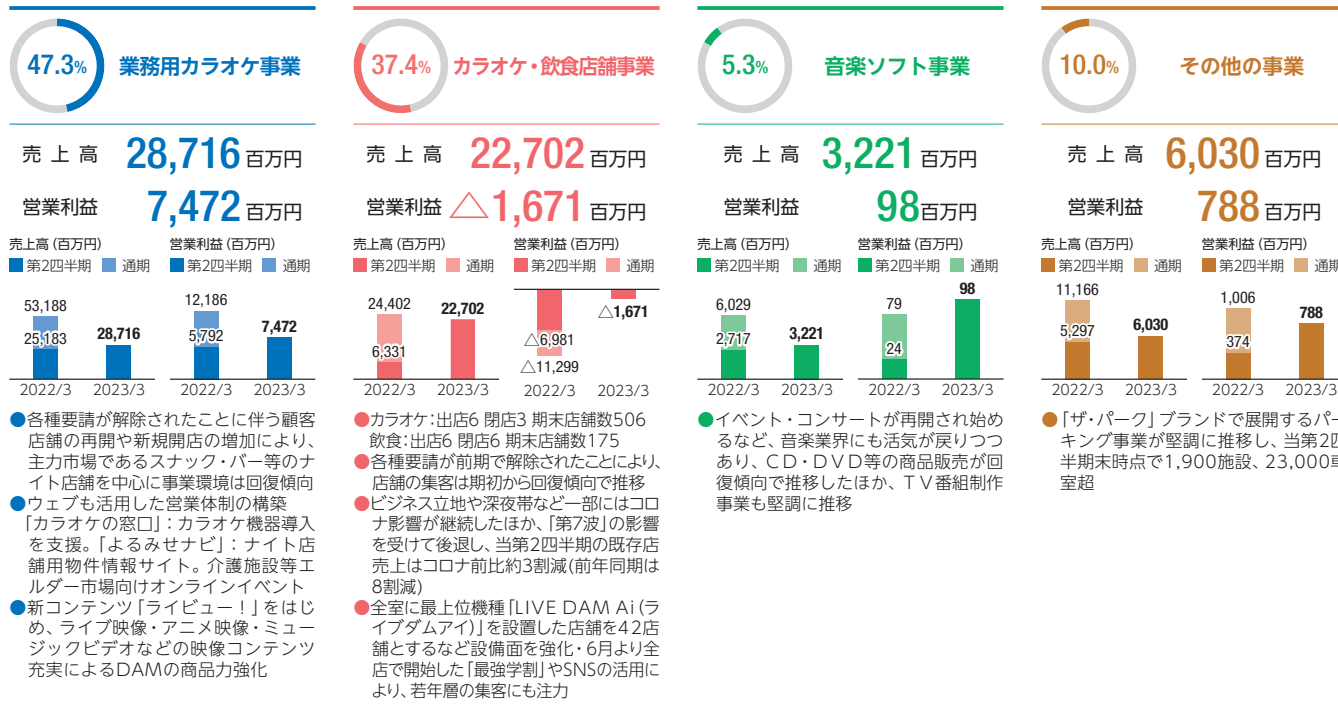
営業利益(単位:百万円)



親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益(単位:百万円)



セグメント別概況



演歌・歌謡曲

木村 徹二



日本を代表する演歌歌手、鳥羽一郎の次男。幼少期より演歌に惹かれ、高校時代より数多くのステージで活躍。2016年には美兎・竜蔵とともにポップスデュオ「竜蔵日記」を結成。ジャンルを超えた歌唱力が注目を集めました。「竜蔵日記」の活動も継続しながらソロ演歌歌手としてデビューを決意。デビュー曲「二代目」で、父・鳥羽一郎の「骨太演歌」の継承者となるべく、迫力の歌声をお届けします。



J-POP

FES☆TIVE

2013年結成のお祭り系ユニットアイドル。TOKYO IDOL FESTIVALや@JAM等の大型アイドル・フェスティバルでも常連となり、トップランクの人気を誇る。タイをテーマにした曲「微笑ノ国」では、東南アジア各国をはじめ、インド、トルコ、ウクライナ、メキシコなどでもYouTubeのMusic Video再生回数が大きく伸びました。また、タイ国政府観光庁から正式招聘を受けてワンマンライブを開催しています。



会社情報

CORPORATE INFORMATION (2022年9月30日現在)

会社概要

商号	株式会社第一興商 (英文表記) DAICHIKOSHO CO., LTD.
設立	1973年4月16日
資本金	12,350百万円
従業員数	当社 1,894名 グループ 3,381名
主な事業内容	業務用カラオケ事業、カラオケ・飲食店舗事業、音楽ソフト事業、その他の事業
連結子会社	国内販売子会社26社、その他国内子会社12社、その他海外子会社2社

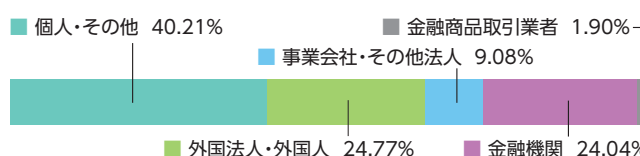
役員

代表取締役社長	保志 忠郊	取締役(社外)	増田 千佳
取締役	保志 治紀	監査役(社外常勤)	梅津 広
取締役	大塚 賢治	監査役(常勤)	小泉 文明
取締役	飯島 毅	監査役(社外)	有近 真澄
取締役(社外)	古田 敦也	監査役(非常勤)	柴野 浩良

株式状況

発行可能株式総数	200,000,000株
発行済株式の総数	54,734,200株
株主数	23,888名

所有者別株式分布



大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
日本マスタートラスト信託銀行(株)(信託口)	7,698	14.10
保志 忠郊	6,246	11.44
保志 治紀	6,119	11.21
JP MORGAN CHASE BANK 380055	2,871	5.26
(株)ホシ・クリエート	2,449	4.49

※ 持株比率は自己株式142,602株を控除して計算しております。

株主優待のお知らせ

2022年9月30日現在の株主名簿に記載された100株以上ご所有の株主様に保有株式数に応じて優待券を贈呈いたします。

所有株式数	優待内容	
	年2回発行	
100株以上 1,000株未満	優待券 ^{*1}	CD交換 ^{*2}
1,000株以上	500円券×10枚	1枚
	500円券×25枚	2枚

*1 当社グループが運営するカラオケルーム「ビッグエコー」や「カラオケマック」、「楽蔵」、「ワメ子の家」、「びすとろ家」などの飲食店などでご利用いただけます。
*2 優待券全額と引き換えを条件に、アルバムCDと交換いただけます。

贈呈時期 2022年12月2日より送付開始
有効期間 2023年1月1日～2023年6月30日

株式事務のご案内

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
上記基準日	定時株主総会については3月31日 その他必要あるときは、あらかじめ公告して臨時に基準日を定めます。
剰余金の配当受領株主確定日	期末配当金については3月31日 中間配当金については9月30日
単元株式数	100株

公告方法	電子公告 ただし、事故その他やむを得ない事由により電子公告による ことができない場合は、日本経済新聞に掲載します。
株主名簿管理人 及び特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先 (電話照会先 郵便物送付先)	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 電話：0120-232-711(通話料無料) 郵送先： 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部